

入選

今までの自分 これからの自分

徳島県 加茂名南小学校

2年 岡田ゆうひ

「親切」は、みんながえがおになれる、まほうのことばだと思います。わたし、家ぞく、ともだち、ちいきの人など、すべての人がこのことばを大切にしていけることができれば、きっとすてきなまい日をすごせるはずです。

ある日の休み時間に、トイレで見かけたできごとが、わたしの心の中につよくのこっています。わたしがトイレに行くと、1人の女の子がトイレのスリッパの近くで、しゃがんでいました。はじめは、「なにをしているのだろう」と、ふしぎに思っていました。そのこたえはすぐに分かりました。

その女の子は、トイレのゆかにちらばっているスリッパを、ていねいにそろえているのです。スリッパは、ぜんぶで6足ありました。その女の子が見つかったスリッパは、1足のはずです。自分が見つかったスリッパはもちろん、だれかがつかってそのままにしていたスリッパも、そろえようとしていました。

わたしは、とてもおどきました。そのりゆうが2つあります。1つ目は、きたないものを手でさわられていることです。そのようすを見かけたとき、心の中で「よくさわられるな...」と思いました。2つ目は、自分がつかっていないものも、かたづけていたことです。わたしは、自分が見つかったものでさえ、もとのぼしょにかたづけることがにがてです。「この子は、どんな気持ちでやっているのだろう」とも、思いました。

家にかえって、このことをお父さんに話してみました。お父さんも、おどろいたようすで、「その女の子は、すごいね。」と言いました。わたしが、「どうして、そんなことができるの。」と聞くと、3つのことを教えてくれました。

1つ目は、「きたないものを手でさわられるのは、心がきれいだから」ということです。きれいな心をもっている人は、まわりの人がいやがるようなことにも、すすんでうごくことができる、と教わりました。

2つ目は、「だれかのために、すすんでうごくことができる人は、心のやさしい人」ということです。わたしは、「ほかの人がするだろう。わたしがしなくてもいいや」と思うことが多かった今までの自分を思いかえし、すこしドキッとしました。

さいご3つ目に、「このような親切は、だれにでもできる」ということです。親切は、だれかにやさしくすることもそうだけれど、見えないだれかのためになることをするのも親切なのだと感じました。

今までのわたしのように、「わたしがしなくても...」という気持ちのときもあるかもしれないけれど、ときにはあの女の子のように、「わたしがしよう!!」という気持ちをもって、「小さな親切」をできるようにしていきたいです。

今日も1つ、やりたいと思います。